



学校だより 第7号
令和7年11月5日
氷見市立十二町小学校

思い出に残る最高のステージ～学習発表会～

10月19日に開催した学習発表会のテーマは「心をついに仲間と笑顔で思い出に残る最高のステージにしよう」です。このテーマを意識し、一人一人が学習発表会の目当てを決め、練習を重ねてきました。日に日に声の出し方や動きが大きくなり、当日はどの学年も、これまでの練習の成果を発揮し、精一杯の演技をすることができました。ご家族や地域の方々からの温かい拍手に包まれ、子供たちは達成感や満足感を味わうことができたと思います。

また、獅子舞クラブの子供たちも、講師の方々の指導の下、練習に励んできた演技を披露しました。当日は万尾地区獅子舞保存会の皆様のご協力もあり、生き生きとした姿を見ることができました。十二町小学校ならではの演目に、地域の伝統文化を継承する素晴らしさを感じました。

学習発表会を通して、目当てに向かい自分の力を出し切ることや仲間と助け合うことの大切さを実感できたと思います。今後の学校生活にもこの学びを生かすことを願っています。



自分たちの地域を美しく～十二町クリーン作戦～



10月28日に「十二町クリーン作戦」を行いました。ペットボトル、空き缶、タバコの吸い殻、お弁当の容器等、様々なごみが落ちていました。袋いっぱい拾ってくるグループもありました。

「登校するときは気付かなかったけれど、ごみがたくさん落ちていることが分かった」「少しはきれいになってよかった。これからは十二町校区をきれいにしていきたい」等、インタ

ビューでは様々な意見が出されました。ごみ拾いを行うことにより、自分たちの地域の実態を知るとともに、環境美化を目指してできることを考えるきっかけとなりました。天然記念物であるイタセンパラが棲む川等、十二町の美しい環境を守っていこうとする気持ちを育みたいと思います。



十二町っ子 各学年の活動

校外学習(1～3年)

10月24日に校外学習で太閤山ランドに行きました。

こども未来館では、館内に張り巡らされている網やトンネル等を探検しました。わんぱくの丘ではお弁当を食べたり、ターザンロープや滑り台で遊んだりしました。

大きなカマキリを見付けたり、ドングリを拾ったりして自然と触れ合うこともできました。

秋晴れの爽やかな日に子供たちの笑顔が輝きました。



防火教室 6年生

6年生は総合的な学習の時間に防火について調査を行ってきました。氷見消防署から消防士さんをお招きし、氷見市の火災についてお話を聞きました。質問にも答えていただきました。学びをまとめ、防火を呼びかけていきます。



地域の食材を使った料理教室 5年生

かむかむキッチンの先生を講師としてお招きし、氷見の食材を使ってご飯と味噌汁を作りました。食材の切り方や出汁のとり方等の調理法を学びました。野菜が苦手な子供でも、自分で作った味噌汁の味は格別だったようです。



サツマイモ掘り 1～3年生

1～3年生が6月に植えたサツマイモを収穫しました。中谷内営農組合とJAの方が掘り出しやすいように準備や手助けをしてくださいました。子供たちは、地中深く実ったサツマイモを一生懸命に掘り、その大きさに驚いていました。



オニバスの飼育・観察 4年生

オニバスの葉を突き破ってつぼみが顔を出しました。先が少し開いて紫色の花が見えたものもありましたが、どの花も咲かない閉鎖花だったようです。頑丈な葉脈や仮種皮に包まれた種等、オニバスの特徴を見ることができました。

